

## 「課題名：ESBL 産生菌感染症の薬剤別治療成績の検討」について

### ○ 研究の意義・目的

ESBL(基質拡張型 $\beta$ -ラクタマーゼ)と呼ばれる酵素を産生する抗菌薬耐性菌が増加しており、これらの菌による感染症の治療薬は非常に限られています。第一選択とされる薬剤の他にもいくつか治療効果が期待される薬剤がありますが、これらの治療効果がどの程度信頼できるかは明確ではありません。今回、過去の治療成績を検証し、薬剤別のESBL産生菌感染症の治療成績を明らかにするため、この研究を計画しました。

### ○ 研究対象者

平成23年4月から平成26年3月までの期間に、広島大学病院で細菌検査を受けた患者のうち、ESBLを産生する微生物が検出された方を対象とします。

### ○ 研究方法

本研究は、全て診療録(カルテ)情報を転記して行います。

カルテから転記する内容は、検出微生物・検査材料の情報、疾患、性別、年齢、身長、体重、血液検査結果(白血球・好中球数など、腎機能検査値、肝機能検査値、電解質、CRP)、体温、血圧、脈拍数、薬剤投与歴および投与目的、転帰です。(個人が特定出来る情報は転記しません)

### ○ 研究期間 委員会承認後～平成26年12月31日

### ○ 個人情報の保護について

調査内容は、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

\* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。これにより今後の診療等に不利益が生じることはありません。

不明な点がございましたら下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

広島大学病院 薬剤部 薬剤主任 富田 隆志(研究責任者)

電話番号:082-257-5572